

雪を取り巻く市の現状

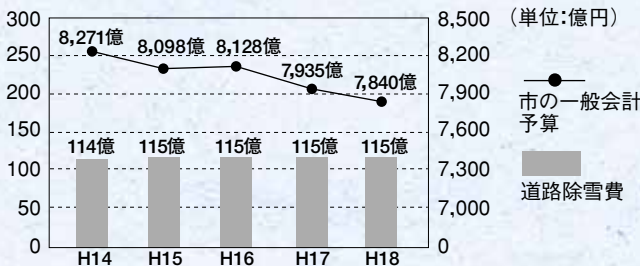


雪対策の現状

厳しい財政状況

長引く不況の影響を受けて市の財政状況は年々厳しさを増しており、ここ数年の一般会計予算は減少を続けています。そのような中、車道や歩道の除排雪費用である道路除雪費は前年度と同程度の額を確保し、なんとか現状を維持しています。しかし、これ以上雪対策に予算を充てられないのが実情です。

■道路除雪費と市の一般会計予算の推移（いずれも当初予算）



道路除雪費に融雪槽やロードヒーティングなどの整備や管理費などを合わせた額が雪対策予算で、18年度の予算額は約145億円です。

遠くなる雪たい積場

都市化が進み、雪かきをしても自宅周辺に雪を置くスペースが少なくなってきました。同じように、市の雪たい積場も市街地での確保が難しくなり、郊外に設置せざるを得ない状況です。このことが運搬費用の増大とともにダンプトラック不足や非効率化を招いています。



郊外に設置された雪たい積場（北区篠路）

市民の要望は29年連続1位

市政に対する要望は「除雪に関すること」が29年連続1位。その中でも特に要望が高いのが「生活道路の除雪」です。その一方で、「よくやっている施策」にも「除雪」は2位に入っています。

■市政に対して力を入れてほしい施策

- 1位** 除雪に関すること **45.1%**
- 2位** 高齢者福祉に関すること (25.9%)
- 3位** ごみや資源回収に関すること (19.7%)

■除雪に関して、より積極的に進めてほしいと思うこと

- 生活道路の除雪 **71.4%**
- 歩道の除雪 (32.8%)
- 歩道の凍結路面对策 (24.5%)

(18年度市政世論調査)

平成8年度の同調査で「除雪に関すること」への要望が60.5%であったことと比べると、市民の評価は少しずつ上がってきたといえます。

昨冬の問い合わせ総数は約42,000件!

除雪時に家の前に雪を置いていかないでほしい

市から→ 限られた予算と時間の中で作業を終えるため、雪を道路の脇によける「かき分け除雪」を実施しています。このため、玄関・車庫前の雪かきは各家庭でお願いをしています。

わだちができたり、ザクザク状になったりして車が走りづらい

市から→ パトロールを行って道路状況を確認していますが、ご連絡をいただいた場合は現地に出向き、状況に応じて路面を整える作業を行います。

でもみんなで力を合わせれば、現状を変えていけるはず!

市民、除雪事業者、市、みんなが雪の問題で苦勞してるのね。

雪対策のこれから



除雪センター職員の声

皆さんのご理解とご協力が不可欠です!



厚別東もみじ台地区
除雪センター長
まるやま よしひと
丸山 佳人さん

毎冬400件近い問い合わせが除雪センターにあります。そのほとんどが家の前に残った雪についてです。ご連絡をいただいたお宅まで出向き、おしかりを受けることも多々あります。家の前に残った雪の処理は大変だと思いますが、除雪は皆さんの協力なしには成り立ちません。わたしたちも冬の生活を守るという使命感を持って作業を行っていますので、一緒に地域の除雪に取り組んでいきましょう。